

# 「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」について (令和5年3月期)

令和5年6月

# 「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」について

- トモニホールディングスグループの徳島大正銀行及び香川銀行は、「トモニホールディングスグループ お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、お客さまの資産形成及び資産運用のお役に立つため、投資信託等の金融商品の販売業務において、お客さま本位の取組みの実践に努めるとともに、その取り組み状況を継続的に公表しております。
- お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を、お客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的指標(以下、「比較可能な共通KPI」といいます。)の令和5年3月末の状況を公表いたします。

## 「比較可能な共通KPI」の内容

### ① 運用評価別顧客比率

- 基準日に外貨建保険を保有しているお客さまについて、購入時以降のリターンを算出し、運用評価別にお客さまの比率を示した指標です。
- 個々のお客さまが保有している外貨建保険について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

### ② 銘柄別コスト・リターン

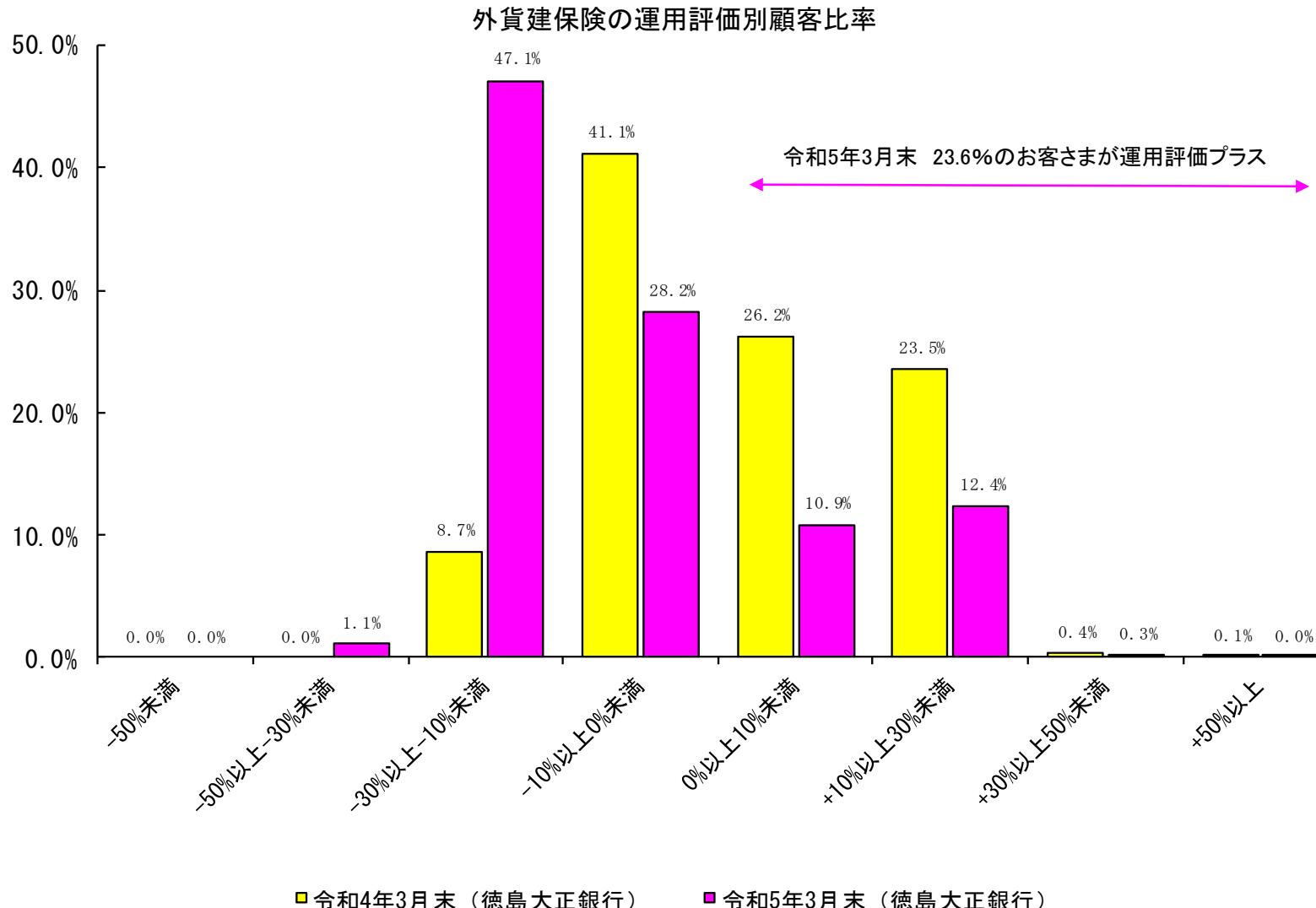
- 保険契約開始から60か月以上経過している外貨建保険について、銘柄ごとのコストとリターンの関係を示した指標です。
- 中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。
- コストの算出に際し、保険会社における当該銘柄の保有契約のうち、保険契約開始から60か月以上経過した契約(基準日時点での有効であるもの)を対象に、当該銘柄を組成する保険会社にて算出される、各契約に適用されている新契約手数料率及び継続手数料率を各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均した値を使用しています。

また、外貨建保険は保険商品として下記の特徴があります。

- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。



- 外貨建保険の運用評価がプラスとなったお客さまの比率は、23.6%となりました。

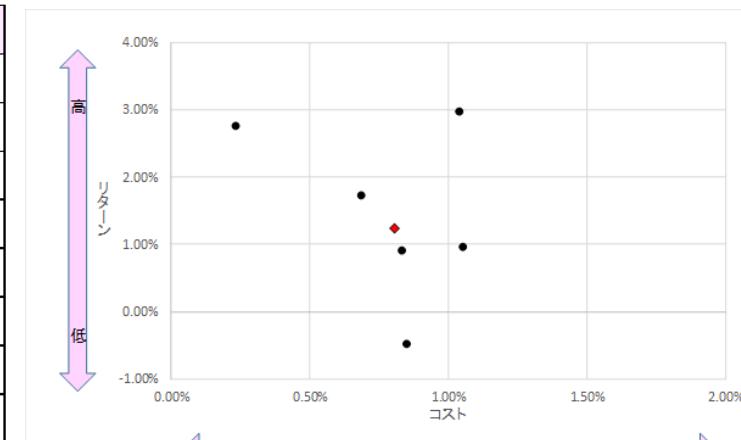


# 銘柄別コスト・リターン

- 対象となる各銘柄のコスト・リターンを残高(基準日時点の解約返戻金額(円換算) + 基準日までの既支払金額)の順で示しています。

令和5年3月末

	商品名	コスト	リターン
①	しあわせ、ずっと	0.83%	0.91%
②	たのしみ、ずっと	0.69%	1.73%
③	ふるはーとJロードグローバル	1.04%	2.99%
④	デュアルドリーム	0.85%	-0.47%
⑤	モンターニュ	0.23%	2.78%
⑥	円貨エブプラス豪	1.05%	0.97%
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			
⑯			
⑰			
⑱			
⑲			
⑳			



残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
0.81%	1.25%	

## 銘柄別コスト・リターン

- 対象となる各銘柄のコスト・リターンを残高(基準日時点の解約返戻金額(円換算) + 基準日までの既支払金額)の順で示しています。

令和4年3月末

	商品名	コスト	リターン
①	モンターニュ	0.25%	3.13%
②	たのしみ、ずっと	0.77%	2.22%
③	デュアルドリーム	1.37%	2.19%
④	モンターニュ2	0.38%	1.79%
⑤	しあわせ、ずっと	0.89%	1.29%
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			
⑯			
⑰			
⑱			
⑲			
⑳			

